

### 警告

- レンズを通して太陽や極度に明るい照明を直視することは絶対に避けてください。
- 使用しながらの歩行や車の運転は絶対に行わないでください。
- ピントが合っていない状態で使用しないでください。  
使用している時、眼に疲労を感じたり気分がすぐれないと感じたら直ちに使用を中止してください。  
日光が当たる場所に置かないでください。
- 焦点レンズ作用により火災の危険があります。
- 乱暴に扱ったりショックを与えたりしないでください。  
また、極度に熱くなる所への放置は避けてください。

### 注意

\* 次のような場合に鮮明な拡大像が得られないことがあります

- ツルを無理に広げレンズが反り返る状態でご使用の場合。
- 瞳孔間距離(瞳の間隔)が狭かったり(60mm未満)、広い場合(68mm以上)  
(※日本人の平均=約63mm)。
- 普段、近視・遠視などで±3ディオプターより強度の屈折度の眼鏡をご使用の場合(「MAX-Detail フェイスリフト」の視度調節によっても完璧に補正されません。)
- 乱視については調整不可能な為、強度乱視の場合はコンタクトレンズ等で視力を矯正した上でご使用ください。

ESCHENBACH

## MAX Detail face lift

マックス・ディテール フェイスリフト No.1624-511

### 取扱説明書

この度はドイツ・エッセンバッハの「マックス・ディテールフェイスリフト」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。  
本品を正しく、安全にお使い頂くために取扱説明書をお読みください。  
また、いつでもお読み頂けますよう大切に保管してください。

#### 保証書

商 品 名 マックス・ディテール フェイスリフト No.1624-511

お買上 年月日 年 月 日

お買上 店名印

お買上げの日より1年間の期間中に製造上、若しくは材料上に起因する不具合が発生した場合には、無償にて修理若しくは交換致します。  
但し、不具合の原因がお客様の不適切な使用、保管上の不注意(落下、水浸等)天災、当社以外での修理、改善などによる場合は、保証期間内といえども有償修理となります。

株式会社 エッセンバッハ光学ジャパン

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-22-17五反田TOC 11F19号

E-Mail:toiawase@eschenbach-optik.co.jp <http://www.eschenbach-optik.co.jp>

「マックス-ディテール」は新しい発想から生まれたメガネ式の拡大鏡（ルーペ）です。目元から約40cm前後の物が2倍の大きさに拡大して見る事が出来ますので、近すぎず・遠すぎない適度な距離で鮮明な拡大像を見ることが出来ます。

また両手が自由になりますので、模型工作や手芸などの細かい作業や読書などに大変便利です。耳に掛けるツル端部がフレキシブルに曲げられますので、耳にフィットするように折り曲げて調整しますと鼻先への掛かりもよくなります。（右図参照）



#### お手入れ方法

- ・ほこりや外部の影響からの保護のため、ご使用時以外は付属のケースに保管することをお勧めします。
- ・柔らかい木綿布かリンネル(眼鏡拭きなど)で拭いてください。
- ・汚れが取れにくい場合(指紋など)は布をやや湿らせて拭いてください。



クリーニングには、アルコールや有機的溶剤を使わないでください！  
流水で洗ったり、超音波洗浄器でのクリーニングは行わないでください！

「MAX Detail フェイスリフト」をかけているときに瞳とレンズと画面が一直線にならないと、拡大像が歪んで見えたり、くらくらすることがあります。  
その場合は付属品の鼻型調整材で補整してください。



眼鏡の上からはかけられません。  
眼鏡をかけている方は外してご使用ください。

#### 使用方法

- ①「MAX Detail フェイスリフト」を眼鏡のようにかけ、40cm先を見ます。
- ② 左目を閉じ、右目のみを開いた状態で40cm先の物が鮮明になるまで右側のダイヤルを回し調整します。
- ③ 右目を閉じ、左目で同じ操作を繰り返します。
- ④ テンプル端部を耳にフィットするよう折り曲げます。



#### 仕様

倍率 : 2倍  
対象物との距離 : 設計上約40cm前後(個人差がございます)  
サイズ(約) : 幅14.5×高さ3×ツル13.5cm  
適合瞳孔間距離 : 60~68mm(※瞳の間隔)  
視度調節可能範囲 : ±3Dpt(ディオプター)  
素材 : レンズ / PXM®光学樹脂レンズ  
ツル部 / ABS樹脂  
付属品 : 鼻型調整材, 専用ケース  
生産国 : ドイツ